

## 財務諸表に対する注記

### 1. 重要な会計方針

#### (1) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給付の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。

#### (2) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

### 2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

特定資産	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
社団基金引当特定資産	47,592,500			47,592,500
生命尊重募金積立資産	17,952,060	4,956,021	7,882,752	15,025,329
仏保精励引当特定資産	2,000,000			2,000,000
菩提樹学園協力基金	32,100,000			32,100,000
持田基金	800,000			800,000
古屋基金	5,400,000			5,400,000
合 計	105,844,560	4,956,021	7,882,752	102,917,829

### 3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

特定資産	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
社団基金引当特定資産	47,592,500		(47,592,500)	-
生命尊重募金積立資産	15,025,329	(15,025,329)		-
仏保精励引当特定資産	2,000,000	(2,000,000)		-
菩提樹学園協力基金	32,100,000	(32,100,000)		-
持田基金	800,000	(800,000)		-
古屋基金	5,400,000	(5,400,000)		-
合 計	102,917,829	55,325,329	47,592,500	0

### 4. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業費計上による振替額	7,882,752
合 計	7,882,752